

○宮川堤の歴史年表

西暦	年号	宮川堤に関する出来事	歴史上の出来事
717	霊亀 3	・ 8月16日、大風洪水、御正殿（外宮）之許1丈。【太神宮諸雑事記】	
809	大同 4	・ 8月26日、風雨のために洪水あり、宮川堤が潰れた。【宇治山田市史】 ・ 宮川堤切れる。【伊斎旧蹟聞書】	
856	貞観15	・ 8月13日、大風雨のため宮川洪水、市中の牛馬、人家を流失。【太神宮諸雑事記】	
1040	長暦 4	・ 7月26日、宮川氾濫し、山田市中海となる。【二所皇太神宮遷宮次第記】 ・ 同 夜子時、西風俄吹、洪水洗山、西風払天地【太神宮諸雑事記】	
1117	永久 4	・ 9月24日、宮河洪水、参宮人倫競乗、小船渡越程河中船漂流【神宮雑例集】	
1121	保安 2	・ 8月25日、宮川洪水、市中に溢流す。【神朝遺文】	・ 同日、伊賀・伊勢地方一帯、大きな台風被害
1124	4	・ 8月、暴風吹大雨降、正殿下2尺8寸。【神宮雑例集】	
1128	大治 3	・ 6月5日、度会河（宮川）堤の守護神として外宮土宮に宮号が宣下された。【類従紙祇本源】	
1161 ～ 1165	応保 ～ 長寛	・ 勅旨として神宮に参向した平清盛が、惨状を聞いて堤防の改築に力を尽くし、その堤を清盛堤と呼んだと言い伝える。【神宮典略】【神都名勝誌】【神風小名寄】【郷談】【伊斎旧蹟聞書】※ただし【宮川夜話草】は疑問を呈す。	
1449	宝徳 1	・ 9月15日、宮川また溢れて、八社奉幣使も渡るを得なかった。【度会教育会編、社会科資料集】	
1492	長享 3	・ 3月、諸国洛中群参、路次不通得、洪水爾宮川橋落、千数百人流死。【長与宿禰記】	
1498	明応 7	・ 宮川の氾濫のため山田人民、宮山井、高宮地に避難す。【神朝遺文】	・ 明応の大地震
1513	仁寿 3	・ 大風洪水、月読社及伊佐奈岐社の正殿玉垣神門流失、神宮装束亦災に罹る。【神宮年表】	・ 葛原親王（桓武平氏祖）薨去
1557	弘治 3	・ 8月26日、宮川堤切れ、久留、二俣人民家流、並木水流。【河崎氏神宮年代記】	・ 第三次川中島の戦い
1566	永禄 9	・ 閏8月4日、大雨洪水で宮川堤が切れた。【松永集彦年代記】	
1592	文禄 1	・ 宮川大堤を築く。【神宮年表】	・ 文禄の役
1620	元和 6	・ 山田奉行制札を宮川の渡頭に建つ。【神宮年表】	・ 喜多流創設
1624	寛永 1	・ 台徳院殿秀忠公堤破損料下し賜い、宮川の東岸を修築する。【神風小名寄】	
1629	6	・ 943両余をもって堤修築。【三方会合諸旧例書】	・ 紫衣事件
1642	10	・ 8月25日、松井孫右衛門、人柱に立つと伝える。【松井孫右衛門石像台石】	
1644	12	・ 7月29日、宮川洪水、堤三百間決潰、山田市中浸水、家屋を流し、人名を損す。【神宮年表】	・ 柳川一件
1646	正保 3	・ 料金を下され、同4年4月15日に今の堤成る。南北265間なり。【毎時問】 ・ 台徳院殿大分の白金30貫を下し賜い、寛永12年7月29日の洪水による破堤を修復。【神風小名寄】 ・ 山田奉行石川隈州源政次上聞に達せられしかば、先例に任て大猶院殿より営築料御下行にて、同3年塘堤成就。【勢州古今名所集】 ・ 土と砂を切りまぜて、前代未聞の堅固なる堤をきずき侍り。【神風小名寄】	・ 鄭成功、幕府に対して援助の兵を求めるが幕府はこれを拒絶。

西暦	年号	宮川堤に関する出来事	歴史上の出来事
1647	正保 4	・銀30貫下付され堤修復。【三方会合諸旧例書】 ・幕命により宮川目付を定む。【三方会合諸旧例書】 ・6月17日、山田奉行石川大隈守の命により山田三方に於いて年々の堤番2人を置くこととなる。【囲炉間談】	
1647	慶安 1	・山田奉行石川政次幕命を奉じて豊川を浚渫し、付近の民屋を退く。西世義寺前より起り、東高神山麓に至る。【神宮年表】	
1650	3	・7月27日、大洪水、石橋不残水越す、町に水入。【熊野史】 ・同 宮川洪水、堤防決潰。【神宮年表】 ・9月2日、宮川洪水百余丈堤防決潰。【宮川夜話草】 ・9月、百余丈破損せしを速に修補す。其料数千金なり。【宮川夜話草】	・慶安のおかげ参り、日平均500～2,100人
1651	4	・宮川堤防根廻り40間2尺の嵩置をなす。【神宮年表】	・由井正雪の乱
1673	延宝 1	・山田奉行桑山貞政外宮々城外世義寺跡地に長99間高2間の土手を築く。【神宮年表】 ・外宮北御門東の人家の撤去跡に東西59間の土手を築く。【神宮年表】 ・豊宮川堤を築く、長180間、高2間、根張5間。【神宮年表】	・三井高利、呉服店「越後屋」開業
1675	3	・8月4日、8月2日より雨降り、4日に宮川増水の為、渡船顛覆して百余人溺死。【山田志】	
1680	8	・宮川洪水、堤大破。【神宮年表】	
1681	9	・8月14日、風雨洪水にて宮川西岸の堤切れ、山田市中に水入、外宮一鳥居辺、亦洪水。【万聞記】	
1681 ～ 1683	天和 年間中	・山田惣中にて千両堤を築く。【神境秘事談】	・お七火事
1684	貞享 1	・8月20日、風雨洪水で宮川常水より高きこと三丈、堤防が切れ、山田、河崎、船江まで浸水し、安全な所僅かに五分の一ほど。【小林重兵衛見聞録】	
1685	2	・棒堤を築く。下行銀20貫目に神人等私銀5貫を加えて成る。【毎時問】 ・幕府宮川堤防修築料として銀200貫を下付する。【神宮年表】 ・岡部駿河守殿神時に一、二、三の鬮及び駿河様堤を築く。【神境秘事談】	・平安時代から使われていた宣明暦を廃止し、国産の貞享暦に改暦
1686	3	・宮川堤修築料足らず、山田各町に銀5貫を課す。【神宮年表】	・信濃国で貞享騒動
1687	4	・9月9日、8日大雨洪水、宮川増水三丈余、山田半ば浸水する。【山田志】	
1688 ～ 1704	元禄 年間	・中島町の伊之助が参宮客などに焼豆腐を売っていたという。【むかし物語】	・日本永代蔵 ・奥の細道 ・曾根崎心中
1702	元禄15	・長谷川周防守殿堀内蔵之助殿御時代に周防様堤を築く。【神境秘事談】 ・金500両下付さる。【三方会合諸旧例書】 ・幕府宮川堤防修築料金500両を下付し修築せしむ。【神宮年表】	・元禄赤穂事件 (赤穂浪士の討ち入り)
1709	宝永 6	・幕府より金943両余を下付され、修堤する。【三方会合諸旧例書】	・阿蘇山噴火。

西暦	年号	宮川堤に関する出来事	歴史上の出来事
1741	寛保 1	・ 7月22日終日風雨。翌23日午前水大半ひく、堤の切口、堺桶の下100間計切、堤の根迄切れ、堤17間許り残りて、又下の方100間計切る。2ヶ所切口合せて213間6尺なり、山田領溺死54人、半潰400軒也、【寛保洪水記】 ・ 宮川大洪水、堤防200間決潰、翌2年2月、幕府が之を補修した、用金2,000余両という。【神都春秋】 ・ 洪水、堤100余丈破損。【宮川夜話草】 ・ 堤防100丈の破損を速に修補す。その料数千金を要せり。【宮川夜話草】	
1748	延享 5	・ 山田惣中より宮川浅間堤85間を修築する。【神宮年表】	
1768	明和 5	・ 7月21日、風雨洪水為、宮川中川原口、堤10間余切れ。【高林末光日記】	・ 新潟明和騒動。
1802	享和 2	・ 6月29、30日風雨烈しく、宮川堤切れ、市中浸水夥し。【神境秘事談】 ・ 宮川洪水、中川原堤防38間、高向、長屋両村の間、堤200間決潰、山田町内浸水5尺。【神宮年表】	・ 十返舎一九による東海道中膝栗毛の初刷り開始
1845	弘化 2	・ 7月13日、夜、風雨烈しく宮川10段余の増水で、大世古町、新町より一本木吹上辺りまで浸水。【社会科資料集】	
1862	文久 2	・ 8月1日、宮川大洪水、昼田村の堤100間余切れ小俣村、川端村境、新川原堤も200間計り切込市中の方にも、町内家々に入水入り往来は大川となった。【宇治山田市史】 ・ 宮川氾濫、沿岸諸村被害多く、小俣川端村界堤防200間決潰。【神宮年表】	・ 幕府老中の安藤信正が襲撃される坂下門外の変。
1865	慶応 1	・ 宮川堤の修繕を山田市在に課す。【神宮年表】	
1869	明治 2	・ 7月13日、宮川出水、仮橋流され、所々の小橋は残らず落ちた。【社会科資料集】	・ 戊辰戦争終了。
1873	6	・ 3月、度会県参事安岡良亮、桜350株を移植。【宮川堤植桜碑文】	・ 徴兵令、地租改正。
1878	11	・ 4月、初めて宮川に板橋を架す。【神宮史年表】	・ 紀尾井坂の変
1882	15	・ 4日暴風雨、5、6両日に亘って雨止まず、諸川増水して宮川堤防切れ、磯村の田畑6、7町河原となる。【神都年代記】	・ 福島事件
1884	17	・ 7月17日、洪水、被害多し。【宇治山田市史】	・ 秩父事件
1886	18	・ 7月1日、暴風雨、宮川洪水にて昼田村の堤防切れ、17戸流失し、20余人の溺死者あり、田畑200余町歩河原となった。【神都年代記】	・ 天津条約、内閣制度発足。
1889	22	・ 8月、暴風雨洪水、小俣村の宮川堤150間、長屋村堤防100間決潰。【神宮年表】	・ 市制・町村制施行
1897	30	・ 11月、参宮鉄道（現JR参宮線）、山田駅（現伊勢市駅）まで開業。	
1904	37	・ 7月10日、宮川の出水量は20年来の高点に達せり、平水9尺が10日午前5時には21尺に達し、12尺の増水なり。【伊勢朝報】	・ 日露戦争
1911	44	・ 4月、度会橋（木橋）架橋。	
1915	大正 4	・ 9月、松井孫右衛門石像、付近の青年会が修理。台石に由来刻む。【宇治山田市史】	・ 対華21ヶ条の要求
1917	6	・ 1月15日、小川町青年の発起により「宮川堤植桜碑」建立。【宮川堤植桜碑文】 ・ 10月10日、宮川洪水、沿岸の宇治、岡本辺り浸水、中島町に溺死者あり。【宇治山田市史】	・ ロシア革命
1918	7	・ 9月24日、宮川大増水。【宇治山田市史】	・ シベリア出兵
1919	8	・ 宮川橋（木橋）架橋。	・ カルピス売出
1933	昭和 8	・ 5月、度会橋、コンクリート製の橋に架け替え。	・ 国際連盟脱退
1937	12	・ 6月30日、宮川堤、三重県名勝に指定。	・ 日中戦争勃発

西暦	年号	宮川堤に関する出来事	歴史上の出来事
1938	昭和13	・ 8月、大杉谷において1日10時より2日の10時にかけて、825耗の降雨をみる。宮川増水。【三重県災害史】	・ 国家総動員法制定
1941	16	・ 9月24日、宮川堤防決潰。【三重県災害史】	・ 太平洋戦争勃発
1942	17	・ 6月23日、大杉谷、宇治山田市方面大雨。【三重県災害史】	・ ミッドウェー海戦
1946	21	・ 7月、増水で宮川橋流失。 ・ 10月7日、度会郡大内山村、柏崎村、滝原村豪雨、田畑浸水の惨あり、紀勢東線寸断さる。【三重県災害史】	・ 伊勢志摩国立公園誕生
1953	28	・ 宮川橋、コンクリート製の橋に架け替え。 ・ 10月17日、伊勢神宮奉納全国花火大会第1回開催。	・ 韓国、竹島を占拠
1958	33	・ 12月22日、境楠、市天然記念物に指定。	・ 岩戸景気
1962	37	・ 2月、度会橋、舗装工事完了。架け替え。自動車の通行増加に対応。	・ オリンピック景気
1983	58	・ 10月末日、宮川町の桶谷幸生氏、宮川堤の草叢に大日塔を発見。以後、「大日権現社」として祀られる。【大日権現祭典御案内】	・ 東京ディズニーランド開園
1987	62	・ 度会橋、4車線化。	・ JR発足
1990	平成2	・ 3月3日、宮川堤、日本さくら名所100選に選定。	・ 湾岸戦争勃発
2003	15	・ 先代境楠、老衰枯死。	
2004	16	・ 9月28日～29日、台風21号による洪水で宮川右岸中島・大倉地区において159戸が浸水。戦後最大の被害。	
2006	18	・ 国交省、宮川床上浸水対策特別緊急事業実施。平成24年度完了。	
2014	26	・ 国交省、宮川桜堤改修計画実施。5月24日、着工式。	